

手話通訳者と自然災害
リズ・スコット・ギブソン WASLI 会長

もくじ

手話通訳と自然災害 1

災害情報 2

ガーナ：より多くの手話通訳者を 2

ケベック州でASL通訳者不足 2

ISLIAへようこそ 3

WASLI大会プログラム 4, 5

皆様のご協力を！ 5

私がこの文章を書いていると、アジア地域代表理事の市川恵美子氏からWASLIに連絡が入りました。日本で先日、甚大な被害を及ぼした地震と津波の破局的状況についてです。

1万6000人が死亡、40万人が避難しているということです。

電力不足のため、携帯電話の充電もままならず連絡を取るのが難しく、また燃費不足のため、車で現地の状況を確認することもできません。

全国手話通訳問題研究会、日本手話通訳士協会は、全日本ろうあ連盟との連携のもと、懸命な努力をして、必要な情報を得る者が、必要な情報を得る者が、可能な限り通訳者も配備するための最大限の努力がされているのかを確認しているようです。

日本の手話通訳者が首相の脇に立っているのがちらりとテレビに映っているのを見たことは励みになりました。

ここ数年、世界各地で自然災害が多発しています。

アフリカ、オーストラリア、ブラジルでの洪水、インドネシアのサイクロン、チリ、ハイチ、ニュージーランドで多くの人が家を失い、治療を必要としています。

手話使用者にとっても不都合な立派な場であり、食料、水、医療の入手の場はほとんどなくなり、一番最後になります。

多くの国々でテレビは情報源として使用されていますが、手話による情報が保障されていない国はわずかです。

去年のチリ大地震の際には、ラテンアメリカ地域代表理事の私とWASLI会長が関係し、手紙を送付し、テレビを通じたメッセージを、チリ手話通訳者のボランティアの努力も無視され、憤慨しました。



市川恵美子（日本）
WASLIアジア
地域代表理事

WASLIフェイスブックには世界中の通訳に関する最新の情報があ
ります。皆さまざまご参加ください。

国連障害者権利条約の11条には、大災害の危機的
や自然災害を含む危機的
状況においては、各国が
障害者の保護と安全を確
保する必要な措置を取
るよう、と書かれていま
す。

これは当然ながら、手話による情報保障や手話通訳者の必要性も意味するに違いないのではないのかと思います。

WASLIはこの事態を非常に重く受け止めました。

WFDと議論を始め、世界中の状況の把握と分析を進め、よい実例の共有方法を探り、緊急時にも手話通訳者体制が整うための合意協定作成を目指します。

もしこの件に関する経験者でご協力いただける方は、ご連絡ください。

日本やその他の国々で自然災害に被災された方々に対してお見舞い申し上げます。

ニュージーランドとオーストラリアでの災害後の情報に関するリンク

クイーンズランドの洪水に関する情報はこちらのリンクを。オーストラリア手話での記者会見も見られます：<http://www.deafsocietynsw.org.au/floods/>

ニュージーランドのクライストチャーチでの地震に関する手話通訳の記事：<http://www.stuff.co.nz/national/christchurch-earthquake/4805402/Sign-man-becomesvital-link>

ニュージーランド手話での記者会見の例：www.3news.co.nz/VIDEO-Christchurch-quake-press-conference-Monday-morning/tabid/309/articleID/200207/Default.aspx

ガーナ：より多くの手話通訳者を
<http://www.worldwithouthearing.com/> より

ケベック州でASL通訳者不足
<http://www.worldwithouthearing.com/> より

ガーナろう者協会会員がcitiFMにて手話の学習と通訳雇用促進を政府に対して訴えました。ガーナ手話が公用語として認められれば可能ではないか、と彼らは考えています。

彼らは最近病院で死亡したKofi Mensahという34歳の男性について指摘しています。彼の妻は夫が呼吸困難に陥ったため病院へつれて行きました。妻もろう者で2人とも読み書きができませんでした。妻は医者に対し、夫の心臓病の病歴について語るができなかったのです。そのため、適切な処置を受けられず夫は亡くなりました。

ガーナにはおよそ2万人のろう者がいると推測されます。

CBCによれば、フランス語圏であるケベック州では危機的にASL通訳者が不足しています。さらに多くの専門家の養成も必要です。ケベック州には数千人の英語使用者がいるにもかかわらず、10人ほどしか有能な通訳者がいません。ケベック州には正式な大学の視覚的通訳プログラムへのニーズが高まっていると、モントリオールのケベック大学言語学講師スザンネ・ビルヌーブは述べています。2年前、彼女は手話通訳養成へのニーズ調査の研究を発表し、ケベック州の教育省へ提出しました。関係者によれば、勧告を検討中ということです。

ISLIAへようこそ：インド手話通訳者協会

モニカ・プンジャビ・ベルマ
ISLIA会長

ISLIAはろうコミュニティが手話通訳を通して簡単に情報にアクセスできる環境を整えました。それは、インド手話通訳者養成者と資格を持った通訳者による小さなチームによって作られました。彼らはインド手話通訳者養成をしている公的機関に登録しています。それはAli Yavar Jung National Institute for the Hearing Handicapped (AYJNIHH - Mumbai) と the Rehabilitation Council of India (RCI - New Delhi)です。

ISLIAはろうコミュニティには豊かな文化と独特な伝統文化があると確信しています。ろう者をよりよく理解し、ろうコミュニティをより効果的に支援するためには、まず彼らとのコミュニケーション方法を学ばねばなりません。ISLIAはインドのろうコミュニティへの専門的手話通訳者の提供を目指しています。ISLIAはろう者と聴者の両コミュニティへ我々のサービスの存在を喚起し、ろう者が質の高い生活を営むことができるという前向きな印象を与えたいと思っています。ASLIAは多くの人にとって手

話通訳者が職業の選択肢の1つとなるよう理解と促進を進めたと思っています。ISLIAは養成され資格を与えられた手話通訳者のいるインド中で唯一の組織です。ISLIAはろう者の両親や兄弟が十分にコミュニケーションがとれるように手話を身に付けることを奨励します。ISLIAはろう者の教育者に、教育上で2つの方法でのコミュニケーションを強化するために手話を身に付け、使うことを奨励します。それによって、教育者、ろう学生ともに授業を理解し、楽しむことができま

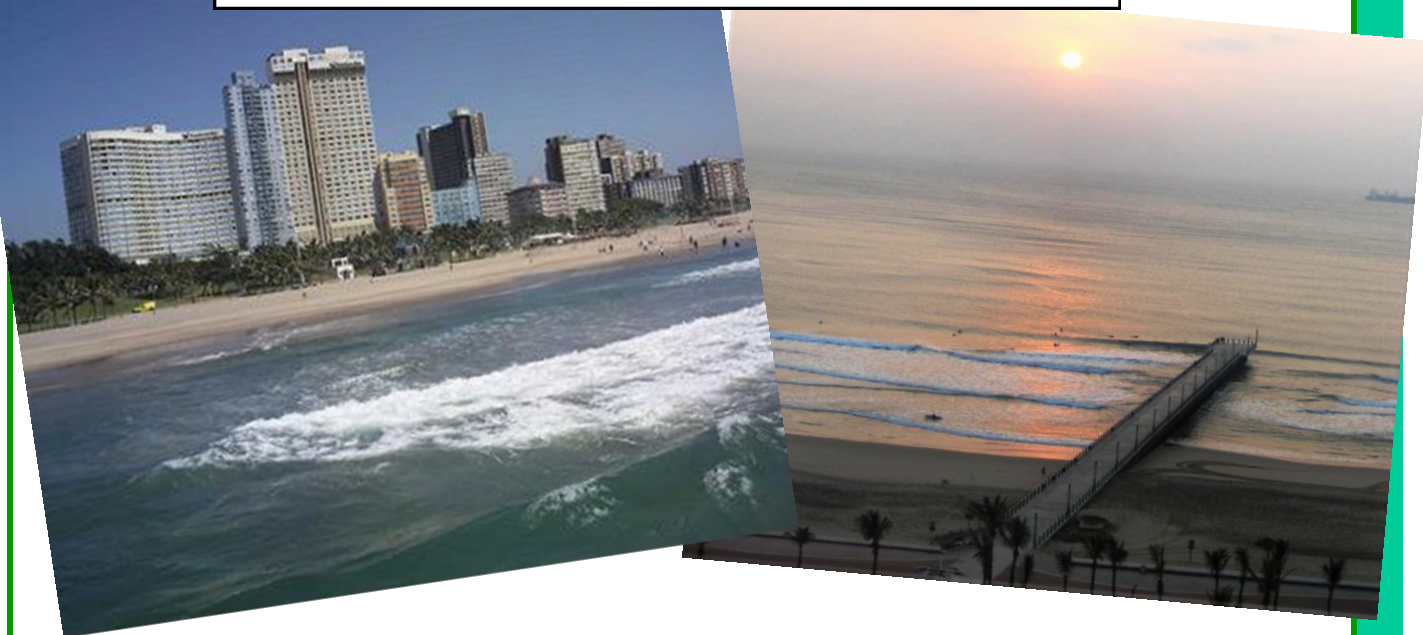
す。ISLIAはまた、一般の人々にもろうコミュニティと交わりろう文化を理解するために手話を学ぶことを勧めます。これらの全てが聴者とろう者のコミュニケーションの違いの橋渡しになります。

ISLIAでは多くの人々の職業選択としての手話通訳の理解と促進に努めています。

ISLIAの詳細はこちら
www.islia.org

Eメールはこちらへ
infoislia@gmail.com

大会プログラムは発表済みです！
3日間の発表者とプレゼンテーション内容を以下のページでお確かめ下さい。
登録はこちらへ：www.wasli.org



WASLI 大会プログラム

2011年7月14日(木)	
	朝食
午前中	WASLI 総会
	昼食
午後	開会式 リス・スコット・ギブソン (WASLI 会長) マルク・ヨキネン (WFD 会長) ブルーノ・ドウルチェン (全国南アフリカろう者協会会長) 基調講演: コリン・アレン 各自夕食、地域会議
19:00 - 20:30	カクテル・パーティ
2011年7月15日(金)	
	朝食
8:30 - 10:30	1. Mark Wheatly & Maya de Wit 「協同発表: 前進あるのみ」 2. Arun Rao 「He is Dimp and Duff! インドでの通訳課題」 3. Awol Patrick Micheal 「ウガンダにおける手話通訳発展の兆し」 (ウガンダ) 4. カントリーレポート (イングランド/ウェールズ/北アイルランド、ドイツ、サウジアラビア、アルゼンチン、オーストラリア)
10:30 - 11:00	コーヒーブレイク
11:00 - 12:30	1. Robert Adam 「ろう通訳者の役割について」 (イギリス) 2. Maria Cristina Pires Pereira (Angela Russo) 「手話通訳会話の人物指示」 (ブラジル) 3. Christopher Stone & Debra Russell 「国際手話通訳: ろう通訳者と非ろう通訳者の決定」 (イギリス、カナダ) 4. カントリーレポート (オーストリア、ベルギー、ボツワナ、ブルンジ、カンボジア)
	昼食
14:00 - 15:30	1. Paul Bartlett & Stuart Anderson 「通訳訓練時におけるろうインプットの価値」 2. Rachel Mckee, Della Goswell & Jemina Napier 「視野の広がり: 1つの通訳者養成プログラムを2つの国で使用するコラボモデル」 (ニュージーランド、オーストラリア) 3. Angela Murray & Joneti Rokotuibau 「ソロモン諸島支援の協働: 新しいろう者と通訳者コミュニティ」 (ニュージーランド、フィジー) 4. カントリーレポート (カナダ、中国、コロンビア、コスタリカ、クロアチア)
15:30 - 16:00	コーヒーブレイク
16:00 - 17:45	1. Len Roberson, Debra Russell & Risa Shaw 「北米における法廷手話通訳制度化の実践」 (アメリカ、カナダ) 2. Jordi Ferre & Melton Bustinza 「通訳者間の共同作業」 (スペイン、チリ) 3. Hend Al-Showaier, Saudia Arabia 4. カントリーレポート (デンマーク、スコットランド、エチオピア、フィンランド、オランダ、南アフリカ)
	各自夕食

機会を広げるために協力を！

WASLI大会は4年に1度しか開催されませんが、発展途上国から通訳者がこの会議に参加できるように寄付を募っております。このスポンサー制度に対して大変多くの方々から支援をいただいているため、無駄にすることはできません。あと一人でも加えられるように最後の寄付のお願いをしています。目標額を超えたら、場合によっては一人よりも多くの人を参加させることができるでしょう。

ほんのわずかな寄付でも加算されると大きな金額になります。カナダの通訳者たちはコーヒーとケーキ代を寄付しています。卒業を控えたカナダの学生が、400ドルを集めました。イギリスの通訳者養成センターでも同様な活動が課され、すでに二人が150ポンドずつ寄付に応じてくれました。

どうか機会を広げるためにご協力を。それによって、発展途上国の一人の通訳者、その同僚、そしてろう利用者に恩恵があるのです！カードまたはペイパルの口座からオンライン経由で今日、www.JustGiving.com/WASLI 宛に申し込んで下さい。（支払いはいギリスポンドの決済になります。）

2011年7月16日(土)	
	朝食
8:30 - 10:30	1. 木村晴美&宮澤典子「より意識するための練習：日本の通訳養成授業より」（日本） 2. Jeff Davis「多言語、多文化内容での通訳：共同での課程作成」 3. Ananda van der Wal & Trudie Theunissen「南アフリカのろう通訳者養成：試験計画」（南アフリカ） 4. カントリーレポート（インド、アイルランド、イタリア、日本、ケニア、ジンバブエ、アメリカ、スイス）
10:30 - 11:00	コーヒーブレイク
11:00 - 12:30	1. Christian Ramirez「聖書手話翻訳のための国際協力委員会（CICBTSL）作業」（アメリカ） 2. Elizabeth Mendoza「倫理綱領の検討：倫理決定の発展—手話通訳者間の作業」（アメリカ） 3. Paul Michaels「ろうゲイコミュニティへの通訳：通訳者と利用者の観点から見たレズ、ゲイ、バイセクシュアル、性転換者コミュニティへの通訳の認識」（アメリカ） 4. カントリーレポート（韓国、コソボ、リトアニア、マダガスカル、マレーシア）
12:30 - 14:00	昼食
14:00 - 15:30	1. Darren Byrne & Senan Dunne「手話通訳者とろう者：対抗？」 2. Jemina Napier「6-up：オーストラリアの表出言語通訳」（オーストラリア） 3. 森壮也「アジア太平洋地域の国際手話通訳者：JICA—全日ろう連、ろう者リーダーシップ研修プログラムの国際手話通訳者としての経験から」 4. カントリーレポート（マラウイ、メキシコ、ナイジェリア、ニュージーランド、ペルー）
15:30 - 16:00	
16:00 - 17:30	1. Tessa Padden & Clare Canton「ろう通訳者の進展」 2. Della Goswell「改革ではなく：倫理綱領の借用」（オーストラリア） 3. Odette Belinda Swift「南アフリカ手話通訳者の中等教育後の役割の開拓（南アフリカ）」 4. カントリーレポート（ルーマニア、ロシア、セルビア、スペイン、スウェーデン、台湾）
18:30	晚餐会／閉会 -

英語とスペイン語の大会情報はこちらへ：www.wasli.org

どうか機会を
広げるために
ご協力を。そ
れによって、
発展途上国の
一人の通訳者
、その同僚、
そしてろう利
用者に恩恵が
あるのです！

あなたのニュースを世界へ伝えよう！
あなたの地域の最新情報、お知らせ、記事、写真
などを次のWASLIニュースレターに掲載する
ためにご送付ください。

Eメールの宛て先はこちら：newsletter@wasli.org



重要事項

このニュースレターの記事内容がすべて世界手話通訳者協会の考えを表しているとは限らない。WASLIニュースレターは、編者がWASLI理事及び外部からの寄稿者と共に作成しています。WASLIは発信した情報の信頼性を確保するように努めます。我々は公開されているすべての情報を編集する権限を持ちます。WASLIは発信された内容の正確性や意見についての責任は一切負いません。出展さえ明らかにすれば、このニュースレターで発信された情報を他の場所でも使用することができます。WASLIの公的な写真の使用許可申請及びメールアドレスの変更はsecretary@wasli.orgまで

WASLI理事会

リズ・スコット・ギブソン（会長）：ファン・ドウルエッタ（副会長）：ゼイン・ヒマ（事務局長）：
ダニエル・バーチ（会計）

地域代表

市川恵美子（アジア）：ジョージ・メジャー（南洋州オセアニア）：フィレモン・アカッチェ（アフリカ公式代表）：ジャック・オウィティ（アフリカ臨時代表）：セルマン・ホティ（バルカン）：マルコ・ナルディ（ヨーロッパ）：ホセ・ルイス・プリエバ・パディラ（ラテンアメリカ）：デブ・ラッセル（北アメリカ）：アンナ・コマロワ（ロシア・コーカサス・中央アジア）

WASLIボランティア

WASLIホームページ管理者：デイビッド・ウォルフエンデン

WASLI会員管理：ロビン・テムコ

WASLI翻訳コーディネーター：ラファエル・トレビーノ

ニュースレター編集：ジョージ・メジャー

ニュースレター校正：パトリック・ガラツソ、アラン・ウェンツ

養成作業グループボランティア

認定評価作業グループボランティア